

## 2025 年度 地域連携・地域貢献事業

### (1)地域研究

沖縄大学では、研究者個人の研究のほか、全学研究プロジェクト及び地域研究所の共同研究班活動に取り組んでいる。

地域研究所は、地域の課題に対し学内所員が学際的研究に取り組むことを本務として 1988 年に設立された。現場に根ざした学外研究者にも参加いただく特別研究員制度を活用し、琉球弧及びアジア地域の社会・文化・自然環境等に関する調査・研究を推進している。

2025 年度は、戦後 80 年を見据えた平和研究、地域史・ジェンダー研究、沖縄の食文化研究、ブランド構築研究、自治会運営の法的課題研究、臓器提供体制研究など、地域課題を学際的に捉える研究活動を展開した。

#### ①全学研究プロジェクト

地域共創・未来共創の大学理念を具体化する全学的な地域研究を推進し、大学の特色化を強め、沖縄大学が地域と共にある大学として発展する礎とすることを目的に実施しています。

#### <2025 年度>

| 年数 | 研究名                      | 概要                                                                                                                    | 構成員                   |             |
|----|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------|
|    |                          |                                                                                                                       | 学内教員                  | その他         |
| 3  | 次世代の平和教育プロジェクト           | 戦争体験のない世代がいかに関わり、沖縄戦を継承していくかを目的に、沖縄大学から「平和と反戦」の研究活動を発信する。「戦争と平和」「非暴力と自由」等について教職員と学生で講座や読書会を企画運営して、平和教育を実践していく。        | 西 章<br>名城健二           | 特別研究員<br>2名 |
| 2  | 沖縄県の臓器移植に関する法・政策・倫理      | 移植でしか救命出来ない命を救うための臓器提供が十分ではない現状に鑑み、献腎移植全国1位となったことのある沖縄県での臓器提供推進の取り組みを分析し、とりわけ家族の同意の意義に着目して政策提言を行うことで、よりよい医療環境の構築を目指す。 | 富山侑美吉川<br>麻衣子<br>島田尚徳 |             |
| 1  | 現代沖縄におけるジェンダー・女性・地域の総合研究 | 現代沖縄の地域社会におけるジェンダーと女性の歴史と現状に関する基礎的なデータの収集と分析による知的蓄積をおこなうと同時に、ジェンダー公正に関する新たな知見を地域社会に還元し、市民的知の構築を目指す。                   | 若林千代洪玢<br>伸           | 特別研究員<br>3名 |

## ②地域研究所共同研究

琉球弧及びアジア地域の社会・文化・自然環境等に関する調査・研究を行うことにより、優れた研究成果を創出し、地域社会に役立てられることを目的に実施しています。

| 年<br>数 | 研究名                                          | 概要                                                                                                   | 共同研究者                |                                   |
|--------|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------------------------------|
|        |                                              |                                                                                                      | 所員                   | 特別研究員                             |
| 1      | 沖縄の食文化に関する文献調査・人工知能を活用した文献データベース構築           | 沖縄食文化に関する紙文献をデジタル化・要約・キーワード化し、検索可能なデータベースを構築する。                                                      | 新島哲太郎<br>荒木裕子        | 金城 助                              |
| 3      | 沖縄における地域史とオーラルヒストリーの方法<br>——戦後史研究の実践から問い直す—— | 沖縄戦後史研究では、オーラルヒストリーの方法と実践に対する学術的検証は未だ十分とは言い難い。本研究では、オーラルヒストリーの実践を通じて研究史を再検証しつつ、地域史の新たな方法を探究する。       | 若林千代<br>我部聖          | 謝花直美<br>親川裕子<br>居原田遥<br>下地ローレンス吉孝 |
| 1      | 中国と沖縄の酵素、食材の保存方法について                         | 中国の発酵食品や酵素、食材の保存方法などを地域の方々に紹介し、沖縄に昔から民間にある酵素の作り方、利用方法などについて調査し、体にいい食品や飲料を考案し、多くの方々に知ってもらう。           | 王 志英                 | 識名 盛繁                             |
| 2      | 離島における教育連携                                   | 地理的に不利な離島地域と大学機能(大学生による出前授業と地域交流)を連携することにより、「離島における教育機会」の課題を整理し、同時に大学機関で今後どのように地域と連携できるか模索する。        | 盛口満<br>喜屋武政勝<br>上原周子 | 後藤亜樹                              |
| 2      | 沖縄の地域産業を牽引する企業におけるブランド志向の実践とアクションリサーチ        | 本研究は、ブランド・アイデンティティの「共創」を中心に据えたコーポレート・ブランディングの実践を行う沖縄県内の企業を対象とし、市場志向からブランド志向への変革と実践へ向けての一連のプロセスを考察する。 | 豊川明佳<br>崔珉寧          | 玉城 綾乃                             |
| 2      | 琉球・沖縄共同体の源流と変遷の研究                            | 現在に直接つながる琉球・沖縄の「共同体」は農耕が始まった12世紀から15世紀のグスク時代に始まると言われている。その起源と変遷(特に近世と近代)を考古学と歴史学と社会学の視点から明らかにする。     | 宮城能彦                 | 賀数仁然<br>武部拓磨                      |

|   |                                       |                                                                                                      |       |       |
|---|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 1 | 地域社会を構成する組織体の適正・円滑な組織運営と地域資源管理の法関係の研究 | 本研究では、沖縄県内外の地域コミュニティを構成する組織体に焦点を当て、デジタル化と個人情報保護のあり方、組織体の意思決定・業務執行の法規整や地域資源管理の法関係を、行政法学と民法学の視点から考察する。 | 眞田 章午 | 西脇秀一郎 |
|---|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|

## (2) 地域研究活動の経過・成果

地域研究活動の経過や成果を発表し、地域にも研究活動にもフィードバックが得られるような取り組みを進めている。

### ① 地域研究公開講座

地域共創・未来共創を掲げる本学の特色化に資する地域研究として、地域研究所共同研究班の成果を学内外へ公開した。

<2025 年度>

| 回  | 開催日   | 講座名                                            | 担当教員等 | 土曜講座連携  |
|----|-------|------------------------------------------------|-------|---------|
| 1  | 7/25  | 中国と沖縄の「発酵」と「酵素」文化に学ぶ<br>～健康的な食の知恵～             | 王志英   |         |
| 2  | 9/26  | 沖縄戦をいかに継承していくか                                 | 西章    |         |
| 3  | 10/20 | 総論：ジェンダー・女性と地域史が交差するとき                         | 若林千代  |         |
| 4  | 11/19 | 離島のこどもたちと教育 ～これからの課題～                          | 盛口満   |         |
| 5  | 12/20 | 沖縄の食文化の歴史と未来<br>～人工知能を活用した文献データベース構築をめざして～     | 新島哲太郎 | 第 614 回 |
| 6  | 1/29  | 『入ってないから関係ない』は通用するか？<br>～「加入を強制しない」自治会運営の法的課題～ | 眞田章午  |         |
| 7  | 1/31  | ブランド構築実践事例 研究発表                                | 豊川明佳  | 第 615 回 |
| 8  | 2/19  | オーラル・ヒストリーを通じて沖縄現代史を学ぶ                         | 若林千代  |         |
| 9  | 2/24  | 沖縄県における臓器提供体制の在り方について考える                       | 富山侑美  |         |
| 10 | 3/14  | 琉球・沖縄共同体の源流と変遷の研究                              | 宮城能彦  | 第 616 回 |

## ② 発行物

地域研究所紀要『地域研究第 33 号』の編集・発行を行った。

また、地域共創の実践成果として、「なはユース自治大学 2025 公開シンポジウム成果報告書」を那覇市自治会長会連合会と共同で刊行し、自治会等における実践に活用できるチェックリストを盛り込むなど、地域への成果還元を行った。

## (3) 地域共創

沖縄大学の理念「地域共創・未来共創の大学へ」に向けて、地域に開かれた土曜教養講座、学生・院生による地域実践、自治体等との連携講座、地域課題をテーマとした重点プロジェクト、政策連携事業を推進した。

## ① 土曜教養講座

<2025 年度>

| 回       | 開催日   | 講座名                                            | 担当教員等    |
|---------|-------|------------------------------------------------|----------|
| 第 609 回 | 6/7   | 公開 沖縄大学論 沖縄大学「発」の生涯学習を考える                      | 山代寛      |
| 第 610 回 | 8/23  | 沖縄戦の記憶を次々世代へ<br>-戦後 80 年を越えて平和活動の継承を模索する-      | 須藤義人     |
| 第 611 回 | 9/13  | アジアにおけるジェンダーと暴力の関係性                            | 洪琬伸      |
| 第 612 回 | 11/8  | こどもの学びを育む「きぼう」の教育<br>-スリランカ、沖縄から見えるミライの教育デザイン- | チャンドララール |
| 第 613 回 | 11/29 | おきなわの子どもたちと社会・企業の取り組み<br>～地域と経済を考える～           | 島袋隆志     |
| 第 614 回 | 12/20 | 沖縄の食文化の歴史と未来<br>-人工知能を活用した文献データベース構築を目指して-     | 新島哲太郎    |
| 第 615 回 | 1/31  | ブランド構築実践事例                                     | 豊川明佳     |
| 第 616 回 | 3/14  | 沖縄アイデンティティの源泉を探して<br>-地域共同体・島・日本復帰、そして学び合い-    | 宮城能彦     |
| 第 617 回 | 3/22  | 若い世代の危機感<br>-沖縄発・戦争の非体験者たちがつなぐ未来-              | 須藤義人     |

## ② 琉球弧研究支援プロジェクト

「地域共創・未来共創」に取り組む学部生・院生を支援する取り組みとして、琉球弧をフィールドとした研究・実践活動を推進した。教員による指導と活動費支援を行い、学生の地域課題への主体的な参画を促進した。

### ③ 自治体・地域団体との連携講座

那覇市人材育成支援センター「まーいまい Naha」と連携し、多文化理解・国際理解・食文化をテーマとした講座を開催した。

| 回 | 開催日   | 講座名              | 担当教員等  |
|---|-------|------------------|--------|
| 1 | 11/19 | 世界の中の「琉球料理」      | 新島哲太郎  |
| 2 | 11/26 | 宗教の中の「食」         | 喜屋武ゆりか |
| 3 | 11/29 | ベトナム料理を囲んで交流会    | 天野裕子   |
| 4 | 3/23  | そうだ、世界へ一歩ふみ出そう!! | 末吉綾乃   |

### ④ 地域共創プロジェクト

#### なはユース自治大学 2025

2025年度の地域共創事業として、那覇市自治会長会連合会、那覇市社会福祉協議会、沖縄県中小企業家同友会、那覇市、沖縄大学による5者連携で「なはユース自治大学 2025 公開シンポジウム」を開催した。

自治会の課題を「孤独・不安・退屈」の感情軸から再整理し、古島自治会 300 世帯アンケート、約 60 名の学生参加による対話型グループワークを通じて、自治会向け実践チェックリストを成果物として取りまとめた。

### ⑤ 自治体職員政策形成セミナー（南部圏域連携）

南部広域市町村圏事務組合との連携協定に基づき、那覇市を含む 15 市町村の自治体職員を対象とした政策形成セミナーを実施した。

本学教員が講師を務め、研修報告会を開催し、政策提言が行われるなど、自治体職員の政策形成力向上と南部圏域における広域連携の推進に寄与した。

また、学生にとっても自治体職員の実践的な政策提言に触れる機会となり、大学教育と地域政策形成を接続する学びの場となった。

### ⑥ 委託事業・政策連携

那覇市等との連携による **子どもの貧困ソーシャルワーク研修委託事業**を年間 8 回実施し、地域福祉実践者・行政担当者・教育関係者の学び直しとネットワーク形成を支援した。

また、沖縄県こども計画に関連して、「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 沖縄を本学で開催し、子ども・若者の意見を政策に反映する地域共創型の政策形成に寄与した。

さらに、「那覇市若者ミライ議会」では、学生が議員役となり、チームごとに那覇市の市政に関し質問を行い、那覇市長及び副市長、行政の各部局の長が答弁を行いました。

| 事業名                | 実施回数 | 内容             |
|--------------------|------|----------------|
| 子どもの貧困ソーシャルワーク研修   | 8 回  | 行政・福祉・教育関係者研修  |
| こどもまんなかアクション in 沖縄 | 1 回  | 沖縄県こども計画への政策反映 |
| 那覇市の未来共創ワールドカフェ    | 1 回  | 学生と那覇市議の地域政策対話 |
| 那覇市若者ミライ議会         | 1回   | 学生が那覇市の市政に質問   |